

IV 全体計画の作成

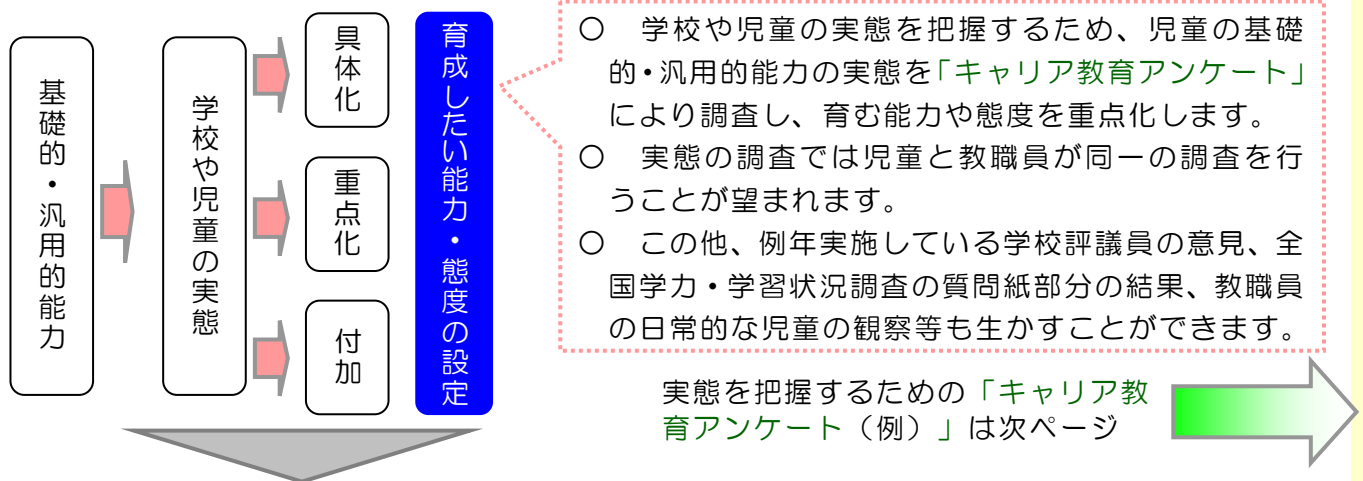
全体計画を作成することには、次のような効果があります。

- 学校の特色や教育目標に基づいたキャリア教育が教育課程へ明確に位置付けられ、キャリア教育を体系的に推進していくことができます。
- 各教科等におけるねらいや指導の重点項目を確認し、共通理解を図ることができます。

(1) 各学校においてキャリア教育の目標を定める際の留意点（例）

- ① 日常の生活や学習の特徴、人間関係形成の様子、集団活動における活動、勤労生産的な活動に対する意識や意欲などを分析するとともに、児童と保護者へのアンケートを実施する（6ページ参照）などして、学年ごとの児童の実態を把握し、育成すべき能力・態度について検討します。
- ② 学校評議員や学校評価委員などの意見を聞いたり、児童の生活している地域の方の話を聞いたりしながら、学校の課題及び学校教育に対する地域の思いや願いを把握します。
- ③ 近隣の小学校の実態を調べ、児童の実態に即して育成すべき能力・態度について検討します。
- ④ 近隣の中学校におけるキャリア教育の目標を確認するとともに、キャリア発達段階を参考にして、小学校6年生における到達目標を設定します。
- ⑤ 各学年の児童の実態に基づいて、各学年における目標を設定します。

(2) 育成したい能力・態度の設定



調査した結果をどのように教職員の取組につなげたらよいでしょうか。

- ① 調査結果の分析の際に明らかになった課題を具体的に示して、育成すべき能力を重点化し、共有しましょう。
- ② ①の課題を解決した「目指す児童の姿」を考え、教職員全員で意見を出し合しましょう。その際、できるだけ授業場面と関連させた姿を一人一人が考えましょう。
- ③ 各自が考えた姿を付箋などに書き出した上で分類・整理し、「目指す児童の姿」を設定しましょう。
- ④ 「目指す児童の姿」が発達の段階に適しているかどうかを確認しましょう。

キャリア教育アンケート（高学年用）の一例

アンケートの項目は、「基礎的・汎用的能力」の内容や趣旨を十分に踏まえた上で、それぞれの学校の教育目標、児童の実状、学校や地域の特色などを考慮して設定することが大切です。

日常生活の様子を振り返り、当てはまる番号に○を付けます。

4：いつもしている 3：時々している 2：あまりしていない 1：ほとんどしていない

①	友だちや家の人の意見を聞く時、その人の考えや気持ちを受け止めようとしていますか。	4	③	2	1	人間関係形成・ 社会形成能力
②	相手が理解しやすいように工夫しながら、自分の考えや気持ちを伝えようとしていますか。	4	3	②	1	
③	自分から役割や仕事を見つけたり、分担したりしながら、周囲と力を合わせて行動しようとしていますか。	④	3	2	1	
④	自分の興味や関心、長所や短所などについて、把握しようとしていますか。	4	3	2	①	自己理解・ 自己管理能力
⑤	気持ちが沈んでいる時や、あまりやる気が起きない物事に対す る時でも、自分がすべきことには取り組もうとしていますか。	4	3	2	①	
⑥	不得意なことや苦手なことでも、自ら進んで取り組もうとして いますか。	④	3	2	1	
⑦	分からないことやもっと知りたいことがある時、自分から進んで 資料や情報を収集したり、だれかに質問をしたりしていますか。	4	③	2	1	課題対応能力
⑧	何か問題が起きた時、次に同じような問題が起こらないように するために、何をすればよいか考えていますか。	4	③	2	1	
⑨	何かをする時、見通しをもって計画的に進めたり、そのやり方 などについて改善を図ったりしていますか。	④	3	2	1	
⑩	学ぶことや働くことの意義について考えたり、今学校で学んで いることと自分の将来とのつながりを考えたりしていますか。	4	3	②	1	キャリア プランニング能力
⑪	自分の将来について具体的な目標をたて、その実現のための方 法について考えていますか。	④	3	2	1	
⑫	自分の将来の目標に向かって努力したり、生活や勉強の仕方を 工夫したりしていますか。	④	3	2	1	

キャリア教育アンケートの活用

- アンケートの項目ごとに集計をします。
- 各能力、さらに各能力における要素（3ページ参照）のどの部分に課題があるかが明らかになります。
- 学校や児童の実態の把握をして、各学校において育成したい能力・態度の設定をします。

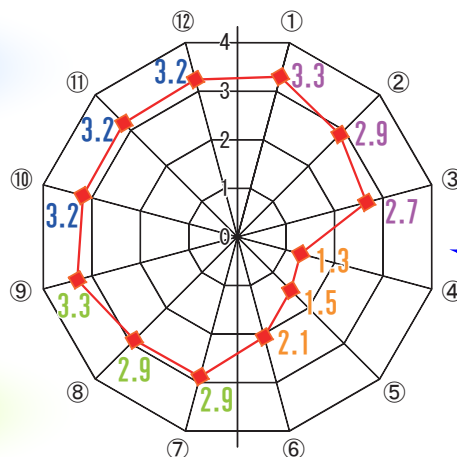
基礎的・汎用的能力と『キャリア教育アンケートの一例』との対応関係

基礎的・汎用的能力	アンケートの項目番号 各能力における要素	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
		人間関係形成・社会形成能力	他者の個性を理解する力	○									
	他者に働きかける力		○										
	コミュニケーション・スキル		○										
	チームワーク			○									
	リーダーシップ			○									
自己理解・自己管理能力	自己の役割の理解				○								
	前向きに考える力				○		○						
	自己の動機付け												
	忍耐力					○							
	ストレスマネジメント					○							
	主体的行動						○						
課題対応能力	情報の理解・選択・処理等							○					
	本質の理解								○				
	原因の追究								○				
	課題発見								○				
	計画立案									○			
	実行力									○			
	評価・改善									○			
キャリアプランニング能力	学ぶこと・働くことの意義や役割の理解										○		
	多様性の理解										○		
	将来設計											○	
	選択											○	
	行動・改善												○

基礎的・汎用的能力の実態の分析及び課題の把握をするためのシート（例）

※ 各校の実情に合わせた取組のための基礎資料の一つとして活用できます。

キャリアプランニング能力



人間関係形成・社会形成能力

6 ページのアンケート回答の平均値を左図のようにグラフ化します。左記の例では、「自己理解・自己管理能力」に課題があることが分かります。

自己理解・自己管理能力

(3) 各教科等との関連

- 児童に身に付けさせたい能力や態度などを、どのような教育内容や方法で育成するのか明確にすることが大切です。
- 育成すべき能力や態度は、道徳及び特別活動の学習と強い関連性がありますが、各教科、外国語活動、総合的な学習の時間における学習や活動等なども含め、学校の教育活動全体で育成することが大切です。

(4) キャリア教育の全体計画の書式例

